

お祖師さまをお訪ねする物語 第3回



高祖日蓮大士ご降誕 800年慶讃

お祖師さま（日蓮大士）は、比叡山で六年間の勉強の後、先生である俊範から、他のお寺での勉強の教えを学ぶことを勧められます。そして仏様の教えを紹介状を持つて、寛元四年（一二四六）二十六歳の時に、奈良にある色んなお寺で勉強されることになります。

日本に、仏教が伝えられたのは飛鳥（今の奈良県明日香村）に天皇（欽明天皇十三年・五五二年）がいた時代なんだ。そして推古天皇（欽明天皇の娘・聖德太子の伯母）の時に、各地でお寺が建てられるようになるんだよ。

しかし、当時のお寺は、仏様の教えを学問として学び、研究する所で、国が造り、国の平和をお祈りする場所だつたんだ。今のように大勢の人が仏様の教えを信仰する場所ではなかつたんだよ。

奈良には、そんな古いお寺があつて、その中でも興福寺、東大寺、西大寺、薬師寺、元興寺、法隆寺、唐招提寺に、お祖師さまは勉強に行かれるんだ。

そのうち、四つのお寺を紹介するね。



お祖師さまは、奈良にある七つの古いお寺で一年間、仏様のいろんな教えを学ばされました。

（七一〇）に都が奈良に移る時、現地（奈良市西ノ京町）に移ってきたんだ。お祖師さまはここで、一切経（仏様の全てのお経）を読まれたんだよ。

法 隆 寺

聖徳太子（飛鳥時代の政治家で皇太子）が推古天皇九年（六〇二）飛鳥から斑鳩（奈良県生駒郡）に都を移す時、この都の隣に建てられたお寺で、世界で一番古い木造建築なんだ。

奈良は、災害や戦争によつて被害を受け、お祖師さまが勉強されたお寺も、今は再建されているけど、法隆寺だけはお祖師さまがおられた時代のまま残つてゐるんだ。

お祖師さまは一年間、奈良の各お寺で勉強をされて、ここから次の勉強の場所、高野山に行かれるんだよ。そのお話は来月号でね。



西大寺の東門

元 興 寺

お祖師さまが、奈良で最初に勉強されたお寺なんだ。蘇我馬子（仏教伝来を勧めた政治家、聖徳太子の義父）が六世紀末に飛鳥に建てた日本で一番古いお寺で、元は法興寺と呼ばれていたけど、奈良に都が移された和銅三年（七一〇）に、元興寺と名前

を変えたんだ。法興も元興も日本で最初に仏様の教えが興隆（盛んになる）したお寺という意味なんだよ。

西 大 寺

天平宝字八年（七六四）に、孝謙上皇（天皇を引退した人）が國の平和を願つて建てたお寺なんだ。

お祖師さまが勉強のために訪れていた時は、良觀房忍性がいたんだ。良觀は後に龍ノ口法難（文永八年・一二七二）など、お祖師さまの敵になるんだね。

薬 師 寺

天武天皇九年（六八〇）に、皇后（天皇の奥さん）の病気を治すために、飛鳥に天武天皇が建てたお寺なんだよ。和銅三年



奈良市油坂にある蓮長寺に建てられた「日蓮大士ご遊学寄遇地」とある石碑

天武天皇九年（六八〇）に、皇后（天皇の奥さん）の病気を治すために、飛鳥に天武天皇が建てたお寺なんだよ。和銅三年

薬師寺の南門と西塔を望む